

事務事業名	企画調整負担金				会計	一般会計		事業種別	経常	開始		終了	
H27担当課等名	企画課		H27係等名	企画調整係		H26係等名		企画調整係					
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営				施策	93	良質な行政サービスの提供				
目的	対象(誰・何を)	全国等の情報				対象指標	指標名及び単位				26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	市政(地域経営)に反映する					市政経営において継続的に情報交換を必要とする団体数				4		
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	有益な情報を交換できた団体数の割合(%)				100	100	100	100				
	定性目標	収集した情報をより効果的に活用されるよう市民への発信する。											
事業概要	関係機関へ負担金を支出して情報収集と人的ネットワークを構築し、飯田市がめざす地域経営に活かす。 収集した情報をより効果的に活用されるよう市民への発信する。												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 関係機関へ負担金を支出して情報収集と人的ネットワークを構築し、地域経営に活かす					(1) 全国過疎地域自立促進連盟負担金 (2) 南信州アルプスフォーラム補助金 (3) 全国街道交流会議負担金 (4) スローライフサミット負担金			4機関				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		419	433	400	401								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		419	433	400	401								
人件費計(千円)②		18		18									
正規職員所要時間		5		5									
臨時職員所要時間		0		0									
総事業費①+②		437	433	418	401								
事業内容・目標達成状況の振り返り	過疎や街、地域づくり、スローライフなど各テーマにおいて、関係する団体との連携・交流を通じて、情報交換を行い、市政への活用を進めてきている。												
改革改善の考え方	①問題点	情報収集や人的ネットワークをさらに広げつつ、市政に有用な情報や力を見定めながら集め、活かしていくことが重要である。											
	②改革提案	関係団体との連携を深めつつ、さらに有用な情報収集を進め、市政に活かしていく。											